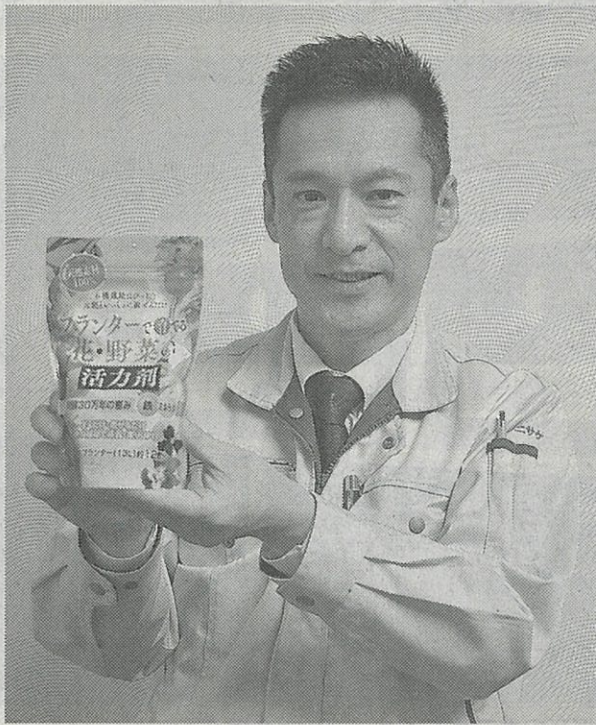


花・野菜の活力剤を市場投入

害虫駆除剤のタニサケ



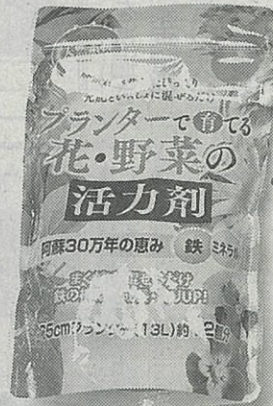
「花・野菜の活力剤」を手にする清水社長

鉄主成分の「リモナイト」使用

家庭菜園など初の農業・園芸向け商品

リモナイトは阿蘇山の噴火により生成された鉱物で、「褐鉄鉱(かつてころう)」とも呼ばれる。植物の光合成に必要な鉄分(70%)や骨格の形成に必要なケイ酸(14%)のほか、カルシウムやマグネシウムといったさまざまなミネラルを含んでいる。
タニサケと、リモナイトを採掘して環境や畜産、農業分野で活用する日本リモナイトは、5年ほど前から家庭菜園向け商品の開発に

害虫駆除剤を製造販売するタニサケ(本社岐阜県池田町片山2957の1、清水勝己社長、電話0585・45・8555)は、熊本県阿蘇山で採掘される鉄分を多く含んだ黄土「リモナイト」を使った「花・野菜の活力剤」を、日本リモナイト(本社熊本県阿蘇市)と共同開発した。タニサケにとって初の農業・園芸向け商品。プランターによる家庭菜園をターゲットに、東海3県(愛知、岐阜、三重県)と九州で販売を始めた。
(西濃・春田昭次)



リモナイトを熟成させ、顆粒状にする

着手。さまざまな植物で実験を繰り返して、収穫量や果実の糖度などで効果が認められたことから商品化した。採掘したリモナイトを3年ほど熟成させ、水で練り固めて顆粒状にする。標準

的なプランター(約13リットル)での1回の使用料は13〜20g。土壌中の有害ガスを吸着するという特長もあり、他の肥料と一緒に使用できる。1袋250g入りで、価

格は700円(税別)。製造を日本リモナイト、販売をタニサケが担当する。清水社長は「生協ルートを中心に、初年度2万袋の販売を目指す」と話している。タニサケはゴキブリ駆除剤の「ゴキブリキャップ」やムカデ駆除剤の「ムカデンジャー」などを製造販売する。看板商品のゴキブリキャップは1986年の発売からこれまでに6億個以上の販売実績がある。

岐阜・三重

岐阜支社

岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中目ビル8階
TEL058(266)7576
FAX058(262)6571

東濃支局

多治見市上野町1-75
日映マンションⅢ602
TEL、FAX兼用
0572(23)7812

西濃支局

大垣市室本町2-39
竹中ビル203号
TEL、FAX兼用
0584(75)1289

三重支社

津市栄町4-255
津栄町三交ビル3階
TEL059(228)2545
FAX059(271)6311

四日市支局

四日市市中浜田町4-16
ロイヤルマンションHAMADA208号
TEL059(354)6116
FAX059(329)5333